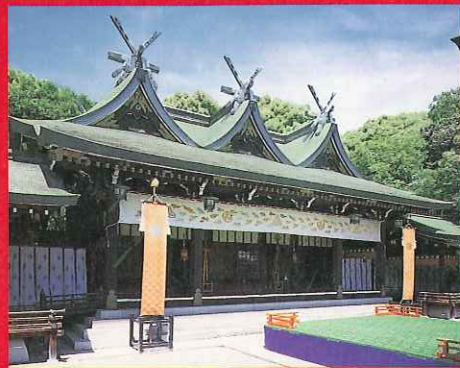


西宮 えびす



えびす 現在は福の神、商売繁盛の神だが、もともとは海幸の神。地方によっては漁師が、目かくしをして海に入り、海底で手にした石をまつるところもある。



ひやくばい 神徳を全国に広めた人形遣いが崇められた神様。このえびす舞が、江戸時代に淡路島に移り、現在の人形浄瑠璃や大阪文楽の源流となっている。



たわら 福の神様につきものの絵柄。なかでも米俵が最も一般的で、その容量は明治時代に1俵あたり4斗(約72ℓ)と定められたが現在は、60kgと換算されている。

平成7年 新春号

西宮神社/〒662 兵庫県西宮市社家町1-17
TEL.0798-33-0321 FAX.0798-33-5355



いのしし 平成7年の干支。この干支はもともと、中国に発生したものが、朝鮮を通じて日本に移入。実際にこの豚が初めて採用されたのは飛鳥時代の推古10年(640)からである。

西宮 えびす

平成7年 新春号

▼境内の四季(雪景色)



編集室から

今回は、十日えびすを中心にまとめてみました。名物の大マグロを毎年奉納される神戸市東部水産物市場の組合理事長の山崎さんと平成6年の福男3名のお話をお伺いしました。

- 山崎さんの重さだけでなく形も考慮されて奉納マグロを選ばれるご苦労や奉納日の8日が日曜にあたっては組合員を動員して冷凍庫を開けて戴くお話しに気概を感じました。
- 平成6年の福男は3名とも高校3年生でしたが現在は、二番福の善吉さんは大阪体育大学で陸上の短距離選手として、三番福の古瀬さんは就職のかたわら西暦2000年のオリンピック開催国オーストラリアで行われた第1回シドニーマラソンを完走されるなどそれぞれにご活躍のようです。
- 新春初詣、十日えびすのご参拝を心からお待ち申し上げております。(英)



え 馬ももとは神仏に祈願するために奉納された馬の絵の額や板絵の時代によって流行があり、最近では商売繁盛祈願や受験生の合格祈願が掛けられている。

西宮えびす平成7年新春号(通巻第2号)
平成6年12月20日発行
発行/西宮神社
〒662西宮市社家町1-17
編集/講務課広報
デザイン/OHTAファーズン
協力/西宮俳句協会
神戸市東部水産物卸売協同組合
住友電気工業㈱広報課
写真提供/朝日新聞阪神支局
産経新聞阪神支局

お知らせ

十日えびす招福グッズ

十日えびすにちなんで命名された商品といえば、まずエビスビール(現在、サッポロビール㈱から発売)。これは明治20年東京目黒にビール工場を建設するにあたり、当社からえびす様を勧請したことにより、それがビール積み出しのための駅名になり地名になり平成6年秋には、工場跡地が近未来都市エビスガーデンプレイスとして生まれかわりました。



▶阪神米穀発売「えべっさんのお米」



▶JTB日本たばこ産業発売「西宮えびすたばこ」



▲西宮市内の日本酒製造19社による共同銘柄「えべっさんの酒」



▲NTT西日本テレカ発行「商売繁盛西宮えびすテレカ」



▲阪神電気鉄道発行「西宮えびすハブカード」

※各社とも十日えびす期間中、神社周辺特設売店にて販売予定。(写真は、すべて平成6年のものです。)

十日えびすにちなんだ招福の品々、平成7年も協賛の団体、企業から発売予定

十日えびす開門神事福男選り三番までが福男、先着五百名に福袋授与

1月10日午前6時、大太鼓を合図に表大門を開くと、外で待っていた参拝者が約200メートル離れた本殿に向かって「走り参り」をします。古来より伝統ある西宮えびす独特の特殊神事としてテレビなどでも紹介され、全国各地より早参りがあります。本えびす初参りの1番から3番までがその年の福男として認証され、えびす様のご神像をはじめ特別賞品が授与されるほか、先着500名の参拝者による福引きも行われ、協賛企業ご提供による旅行や福袋などの賞品がもれなく授与されます。開門神事、一番祈禱に引き続き福男3名による鏡開きが行われ、参拝者にお神酒が振る舞われます。

十日えびす 交通規制のお知らせ

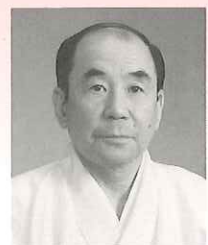
西宮警察署は、1月9日から11日までの3日間、午前9時から午後11時まで神社周辺の21路線計5.2キロを車両通行止めにし、歩行者専用道路にします。神社周辺には駐車場がありませんので公共交通機関をご利用下さい。



- 阪神電車 西宮駅下車300メートル
- 阪急電車 夙川駅下車900メートル
- 阪急西宮北口駅から臨時阪急バス増発
- JR 西ノ宮駅下車1.2キロ

阪神文化と十日えびす

評論家の河内厚郎さんが、ある本の中で「江戸東京学」に対応する「摂津阪神学」を提唱されています。その発想には面白いものがあります。東京と大阪の二大都市を対立的にながめながらも、あえて「大阪学」とはわず、「阪神学」と称したことは、大阪対神戸という、全く都市性格の異なった両都市にはさまれた阪神間を、異色のある文化圏を形成する関西の代表的かつ中心的役割を果たす地域と考えたことに他なりません。近世の江戸から現代の東京へ断絶することなく継承されてきた「江戸東京学」成立の根底には、江戸民衆の心意気を示す「神田まつり」の伝統が生きているように、阪神間最大のまつりである「十日えびす」の賑いは、長い歴史と伝統を守りながら関西の歴史像を浮き彫りにしてきた阪神文化の核といつてよいでしょう。その類似性を尊重しながら、やがて関西復興への手がかりとなることを期待しつつ。



宮司 吉井良隆



煤払祭

◎十二月二十七日 午前十時 本殿
神前でこの一年の安泰への感謝の祝詞をあげた後、きたるべき新年にそなえ、神職総がかりで長さ4メートルの巨大な竹ざおに笹の葉をつけた特製のほうきで、本殿の煤をお払します。



初午祭(神明神社祭)

◎二月八日 午前十一時 境内末社神明神社
和銅4年(七一)如月の初午の日に山城國で秦伊呂貝がもちを的にして矢を射ったところ、白い鳥になって飛び去り、留ったところに稲が生えたので、「稲生り」すなわち現在の伏見稲荷となったといわれています。この伝承により祭典終了後にはもち撒きが行われます。



大被式

◎十二月三十一日 午後四時 拝殿前被所
人を形どった紙の「人形」に、毎日の生活の中で知らず知らずのうちに身についた穢れを移し、清めのお祓いを行い、来る新しい年の幸せを祈ります。(人形に氏名・年齢を記入し、身体をなでてから3回息を吹きかけます。)



もちつきと節分祭

◎(もちつき)一月二十九日 午前九時 絵馬殿
◎(節分祭)二月三日 午前十時 本殿
2月3日の節分のための福もちづくりが西宮神社氏子青年若えびす会(物孝典会長)により行われます。当日は、県立芦屋南高校女子バレー部員や正月十日えびすの巫女奉仕者らも手伝い、威勢のよい掛け声でつかれたアツアツのもちを手際よく丸めています。
節分の日には、氏子は自分の年の数だけ福豆をお供えます。また、えびす様は福の神なので当社では、豆を撒かず、福もちを参拝者にお配りするほか、市内の老人ホームなどにもお頒けします。



百太夫神社祭

◎一月五日 午前十一時 境内末社百太夫神社
えびす様の信仰を人形を遣って全国に広めた傀儡師(えびすかき)が、祖神として崇めた百太夫神をお慰めするお祭。大阪の文楽や淡路島の人形浄瑠璃(現在、国の重要無形文化財に指定)は、この「えびすかき」がもとになっています。祭典に引き続き、淡路島のえびす舞保存会(居内春一代表)による「えびす舞」が奉納されます。 ◎ ①傀儡師/操人形を歌に合わせて舞わす芸人。

西宮神社の祭典・行事

十二月

中旬
迎春準備
23日午前10時・本殿
天長祭
25日午後1時・社務所
新春奉仕巫女研修会
27日午前10時・本殿
煤払祭
31日午後4時・拝殿前被所
大被式
31日午後6時・本殿
除夜祭

一月

1日午前0時・拝殿太鼓
初太鼓
1日午前6時・本殿
歳旦祭
1日午前10時・拝殿前
古武道奉納大会
〈本體楊心流宗家奉納〉
2日午前10時・拝殿前
奉射事始祭
〈西宮弓道連盟奉納〉
3日午前10時・本殿
元始祭
5日午前11時・境内末社百太夫神社
百太夫神社祭
〈淡路島からえびす舞奉納〉

二月

3日午前10時・本殿
節分祭
8日午前11時・境内末社神明神社
初午祭(神明神社祭)
11日午前10時・本殿
紀元祭
17日午前10時・本殿
祈年祭

三月

20日午前11時・被所
皇靈殿遷拜式

十日えびす

西宮神社

全国のえびす神社の総本社として古くから崇敬されている西宮神社は、銘酒の産地として名高い灘五郷・西宮の中央に鎮座し平安時代には、既に高倉上皇の幣帛を賜った記録が残っています。特に室町時代以降は「えびす・だいごく福の神」といわれるように、えびす様が福の神の代表となり、又、西宮神社がその信仰の本拠として人形操や謡曲、狂言などの芸能をとおして、全国津々浦々にまでその神徳が広まってきました。一月十日を中心に九日から三日間は、「十日えびす」として名高く百万人を越す参拝者で賑わいます。



- 1月9日宵えびす
午後2時有馬温泉献湯式
午後4時宵宮祭
- 1月10日本えびす
午前4時十日えびす大祭
午前6時開門神事福男選び
- 1月11日残り福



境内やその周辺には名物のサラエ(熊手などの縁起物を売る吉兆店のほか露店や大道芸人の興行など合せて約700軒余りが軒を連ねます。

(俳句) 福を呼ぶ声を見込んで 吉兆買ふ



笹は常緑で生命力が強く、殺菌や薬用の効果があることで有名。また真つすくにのびる姿が正直な心を象徴していることから商売繁盛の縁起物に用いられるようになったのかも知れません。神札や福袋などの縁起物をつけた福笹が神社から授与されます。

(俳句) ふれて鈴鳴る えびす笹



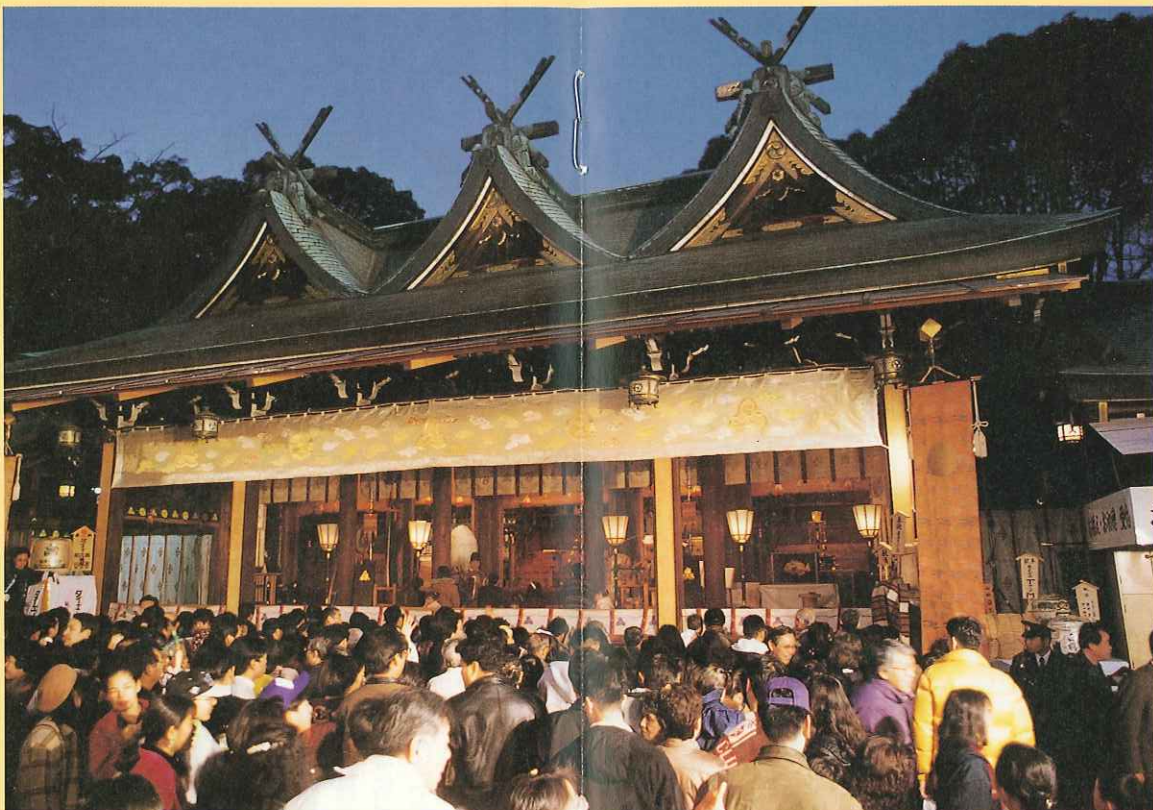
「えべっさんの酒」販売所では、えびす様に扮したミスターえびすがお出迎え。毎年9月に行われる「にしのみや宮水まつり」で選ばれた「宮水娘」がお神酒の無料接待を行います。

(俳句) 授かりし 神酒にほんのり 初えびす



ご参拝の前に拝殿前の祓所です知らず知らずのうちに身についた穢れをお祓いして、清い身となってお参りしていただきます。

(俳句) 押されつつ お祓い受くる 初えびす



三百キロ近いジャンボサイズマグロの奉納
1月8日、卸売市場の若者の威勢のいい掛け声とともに奉納される大マグロで十日えびすの準備は整います。9日は「宵えびす」。午後2時から今年初めて行われる有馬温泉の芸妓さんによる「献湯式」、午後4時から「宵宮祭」が斎行されます。深夜12時になるとすべての神門が閉ざされ「忌籠神事」の後、10日早晩の午前4時から「十日えびす大祭」が身を清めた神職により奉仕されます。午前6時からは恒例の「開門神事福男選び」、そして11日の「残り福」へと続きます。

一番福3連覇のために、会社の同僚も応援してくれています。



本えびす初参りの1番から3番までがその年の福男として選ばれます。平成6年の一番福は、平成5年に続き森本晋由さんの2連覇となりました。当時大阪大成高校の3年生で陸上部、走り高飛び総体4位の成績を修めていた森本さんは、現在は大阪市に本社をおく住友電気工業(株)に就職、実業団チームに属しています。毎日午後5時までは同期と机を並べ最先端の技術研究、仕事を終えてから寮の門限までの練習の繰り返し。約60名の実業団チームのうち陸上競技者はたった3人で日々緊張した自己との闘いが続いています。そんな中、この1年間で一番嬉しかったことは、走り高飛びで5月に行われた関西実業団大会2位、9月に福島県で開催された全日本実業団大会で2メートルの記録で全国10位の成績を修められたこと。「就職1年目から全国大会に出場できたのも福男に選ばれていた縁起のよさからでしょうか。副賞の米俵も米不足の折、家族に大変喜ばれました。平成7年の福男選びにもできることなら出場したいものです。」と一番福3連覇への余裕をみせてくれました。



1月10日午前6時大太鼓を合図に表大門を開くと外で待っていた参拝者が約200メートル離れた本殿に向かかって走り参りをします。古来より伝統ある西宮えびす独特の特殊神事としてテレビなどで紹介され、全国各地より早晩参拝があります。本えびす初参りの1番から3番までがその年の福男として認識され、えびす様のご神像をはじめ特別賞品が授与されます。

(俳句) 福競い 若人が吹き飛ばす 不況風



神戸市東部中央卸売市場から奉納された大マグロは、十日えびす期間中、招福マグロとして拝殿に飾られます。最近はこのマグロの頭や背中などに硬貨を張り付け、商売繁盛や豊漁などの願を掛けることがブームとなり、びっしりと硬貨のうろこで覆われます。

(俳句) 初えびす 頼みの「ツナ」に 硬貨の祈り

より深いご神縁とご加護のために
西宮神社 講社の入会ご案内
えびす様のより深いご加護をいただかれますよう日々ご参前にてご祈願いたします。

ごうしゃ 日供講社
神前に朝夕のお供えとお誕生日に
ご祈禱をいたします
講金年額5,000円

ほん ごうしゃ 本えびす講社
西宮神社の崇敬会、講員の皆様の
日頃のご守護をいたします

講金年額
●正講員1,000円 ●竹講員10,000円
●梅講員5,000円 ●松講員30,000円

※詳しくは、西宮神社講務課までお問い合わせ下さい
TEL0798-33-0321



トピックス

◎ 中秋の名月「古のファッション」観客を魅了

9月20日は中秋の名月。午後6時からの観月祭に引き続き女人舞楽で世界的に有名な原笙会による「白拍子」胡飲酒が奉奏されました。また晩餐会では古の服制に基づいた装束の著装がおこなわれ、男子は衣冠半、齋服・浄衣・狩衣、女子は袴袴の着付解説と料亭「播半」の板前が腕をふるったお月見料理で優雅な夜の一時を過ごしました。

※①服制／衣服に関する制度・規則 ※②童男／祭りに奉仕する男の子供。



① 袴袴姿のかぐや姫

◎ (左から) テープカットをおこなう馬場西宮市長、人間国宝吉田文雀さん、(一人おいて) ポーランドの劇団代表アダム・ヘレニッキーさん



世界各国の人形劇団が集まる「国際人形劇フェスティバル」が7月24日から開催されました。このフェスティバルは昭和55年に伝統民俗芸能の宝庫といわれる長野県飯田市で始まり、昭和62年からは世界各地の劇団も交えて行われています。西宮は、文楽の源流地といわれ、人形操の集団・傀儡師がえびす様のご神徳を人形を遣って全国各地に広めました。オープニングセレモニーは、傀儡師が祖神として崇めた百太夫神がまつられている境内の百太夫神社での成功祈願に引き続き、馬場西宮市長、各国の劇団の代表が挨拶、人間国宝の吉田文雀さんの文楽人形から世界の人形に花束贈呈のあとテープカットがおこなわれました。



② 文楽人形を操るメキシコの劇団員 ソラー・タニアさん

◎ 文楽の祖、傀儡師発祥の地、西宮で世界の人形劇団が競演

◎ 童男は吉井宮司の孫、良迪ちゃんが奉仕

秋祭りの始まりを告げる「童男八乙女認証奉告祭」が斎行され、祭の無事と童男八乙女の認証式が行われました。今年、吉井宮司の孫、良迪ちゃん(5才)が童男に、武庫川女子大学4回生の川添永津子さん(21)ら8名が八乙女に選ばれました。訪れた参拝者は、もえぎや朱など鮮やかな色の平安装束を身にまとった八乙女らに見入っていました。



③ 秋祭りに奉仕する童男と八乙女

◎ 若えびす会と越木岩青年会が、地車を合同練り廻し



④ 阪急苦楽園駅前で練り廻しを披露する若えびす会(手前)と越木岩青年会(右奥)の地車

えびす信仰

シリーズ②



鯛とえびす様

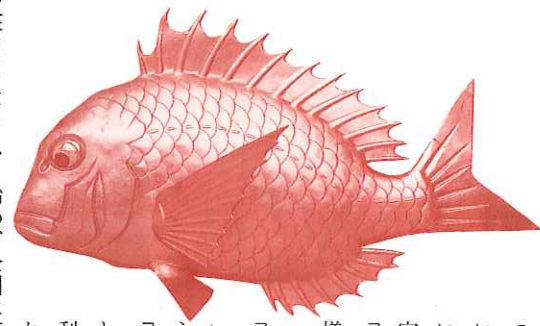
縄文人も鯛が大好き

日本を代表する魚といえば鯛。祝い事に欠かせない、めでたい魚として万人に愛されています。鯛と日本人との歴史は意外と古く、縄文時代の貝塚から出土する、大量の鯛の骨には、人工的な加工が施されているものが発見され、食べられるだけでなく、特別な思いがこめられていたことが分かっています。

文獻上では「古事記」「日本書紀」にも登場し、なかでも海幸・山幸の物語のなかで釣り針を飲み込んでしまったのが赤女魚(鯛)だったことはあまりにも有名です。また、神功皇后が熊襲征伐に向かう途中、海に酒を注ぐと、酔った鯛が浮きあがり、以後毎年6月に鯛が浮く故事も知られています。このように、鯛を日本人が好んだ理由は、ひとつには、料理において、頭から皮まで捨てるところがないこと、そして、鮮やかな赤が古代人の太陽信仰のなかで好まれていて、魔除けの霊力として信じられたことからと推察されます。



一方、海外では、優雅な容姿や華やかな色彩に関わらず、鋭い歯で何でも食べる悪食の魚として嫌われるケースが、多く見られます。



鯛をかかえたえびす様 室町時代に登場!

えびす信仰は、本来、漁村で「海幸の神」として信仰されたもの。その起源となった地、西宮に面した瀬戸内海では、鯛のよく取れる時期のことを「ウオジマ」(4、5月頃)と呼んでいます。産卵のために、藻の生えた浅瀬に集まってきた鯛の群れは性ホルモンの関係で真っ赤になり、盛り上がり、赤い島のようになります。

室町時代以降、特にさかんになった「えびす信仰」のなかで、鯛がえびす様と一体化したのは、この「ウオジマ」が海に浮かぶ太陽に見たてられ、「海幸の神」であるえびす様と結びついたのかも知れません。えびす信仰は、時代が立つにつれ、「市場の神、繁盛の神」となっていくと共に、七福神信仰と合体し、現世利益を求める福神信仰として、上方からの商業文化の波に乗り、江戸を始め、全国に広まってゆきました。

また、鯛のほうも、様々な階層に浸透してゆきました。例えば宮中の四条流の包丁式では、室町時代頃までは、中国の登龍門などの易の思想や、都が内陸部にあった関係から鯉などの川魚が用いられていましたが、鯛にとって代わられました。武家でも、戦国時代以降は儀式に鯛が登場し、江戸時代には御鯛所が設けられるまでになりました。

そして今、「海幸の神」えびす様にマグロを奉納



山崎理事長は卸売業者の「神戸海産物類」神戸海産物類の理事長 山崎明義さん

神戸市東部水産物卸売協同組合の「神戸海産物類」の理事長 山崎明義さん。ともに、毎年西宮神社に大マグロの奉納を続けています。昭和44年、東部中央卸売市場開設にともない、理事に就任早々の役員会で市場の発展と商売繁盛を祈りたいとえびすさんへの魚の奉納を提案。協議の結果、参拝者に見てもらうためにも、日本人好みで大きな魚を、ということになり、大マグロを奉納することに決定。翌45年の10日えびすすから始められました。初秋、地中海で捕れたマグロが静岡の焼津港に水揚げされると、セリで手に入れます。すぐにマグロ専用の零下50度の冷凍庫で保存。1月8日の「宮入り」を待ちます。十日えびすの3日間、拝殿内にどっかり横たわった特大マグロは、参拝者が願をかけて張り付ける硬貨を身にまとい、います。現在、「商売繁盛の神」として知られるえびすさんもルーツは「海幸の神」。漁業の安全や豊漁を願う人々の思いは、時代を越えて脈々と受け継がれているようです。

※①登龍門／中国黄河の源、龍門を登る鯉だけが龍になるという立身出世の関門。
※②御鯛所／江戸両国橋にあった、幕府に鯛を納めるための役所。